

中山間地域農業を支える担い手育成

ねらい

三好地域において、露地野菜栽培を行う20～30代の新規就農者が増加しています。これら若手農業者の多くは経営発展に意欲的ですが、先輩農業者や大規模経営者との接点が少なく、有益な情報交換が十分に行われていないことが問題でした。そこで本活動では、三好地区アグリクラブを核として農業者間の相互連携を強化することで活発な情報交流を促進し、地域農業を支える担い手の育成に繋がります。

活動地域・対象

地域：三好市、東みよし町 対象：三好地区アグリクラブ、若手農業者

普及活動の目標

若手農業者が中山間地域農業を守る担い手へと成長する

目標に向けた活動概要

1 アグリクラブへの加入促進と活動支援体制の整備

地域の先輩農業者と効率的な情報交換できるように、就農1～3年目の若手農業者に対して、アグリクラブへの加入を促進しました。一方、運営面では役員会や総会等を活用してクラブ員との意見交換を行い、クラブ員のニーズに即した魅力あるクラブ活動となるよう活動体制を整備しました。

2 若手農業者の経営力向上支援

・ 農業法人への視察の実施

クラブ員の経営力の強化を図るため、阿波市内の農業法人2カ所（露地栽培1カ所、施設栽培1カ所）への視察研修を実施しました。

・ マーケティング研修の実施

マーケティング研修の一環として、大阪府で開催されたマルシェ「第2回にっぽん青果祭」に出店し、新規顧客の開拓や他産地の出店者とのネットワーク構築に加え、三好地域産農産物をPRすることで認知度向上を図りました。

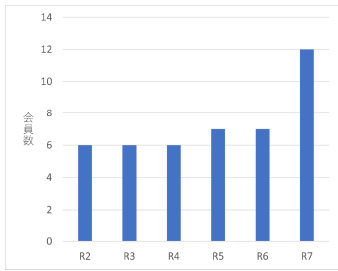


阿波市内の農業法人への視察

普及活動の成果

1 アグリクラブへの加入促進と活動支援体制の整備

クラブへの加入促進にあたり、若手農業者の現状と問題を把握するため、個別の聞き取りや巡回指導を重点的に行いました。その対話の中で加入のメリットを具体的に提案したことが加入への動機付けとなりました。その結果、令和5～7年度にかけて若手農業者6名が新たに参加し、クラブの会員数は計12名へと拡大しました。これにより、新規加入者は地域の先輩農業者との貴重な交流機会を得ることができ、世代を超えたネットワークの構築へと繋がりました。



地区アグリクラブの会員数推移



若手加入により活性化した総会



三好 マルシェでの消費者ニーズの把握

2 若手農業者の経営力向上支援

・ 農業法人への視察の実施

視察研修では、経営者から法人化に伴う現実的な課題や、外国人技能実習生を含めた雇用の確保に向けた取組についての話を聞くことができました。日々の栽培業務だけでは得難い経営視点での学びは、クラブ員が今後の規模拡大や経営高度化を目指す上で、有意義なものとなりました。

視察後にクラブ員で振り返りを行い、規模拡大に向けた経営の効率化や労務管理のあり方について議論し、クラブ員の経営者としての意識改革を促すことができました。

・ マーケティング研修の実施

「にっぽん青果祭」への出店は、消費者ニーズの直接的な把握や、三好地域産農産物の認知度向上に繋げることができました。さらに、マルシェ後に行ったクラブ員全員による振り返り会では、販売実績データの分析に加え、POP表示、販売手法、価格設定の妥当性について多角的な議論が行われました。これにより次期活動に向けた具体的な改善策の共有と、クラブ員の経営意識の向上が図られました。

用語説明	三好地区アグリクラブ：三好地域の20～40代の農業者が中心となり活動している組織のこと。地域農業を担う青年農業者が自身の農業経営の改善や地域農業の発展を目的に集まっている自主的なグループです。
------	--

今後の発展方向

クラブ員の技能向上を図るため、「農業経営」や「土作り」に関する定期勉強会を実施し、反収アップやコスト意識の醸成など経営課題解決に直結する知識習得を支援します。

また、実需者との対話を通じて「売れる商品づくり」の感覚を養うため、今回のマルシェ出店で得られた課題を「販売戦略」として再構築し、次回のマルシェ出店に挑戦します。

今後もこれらのクラブ活動を基に地域農業を支える担い手の育成に向けた継続的な支援を行っていきます。

関係者からの声

クラブ員：アグリクラブへの加入により、他の農業者との交流機会が増え、互いに刺激し合うことでモチベーションの向上につながっています。また、視察研修やマーケティング研修への参加は、今後の経営改善や規模拡大を図る上で参考になりました。